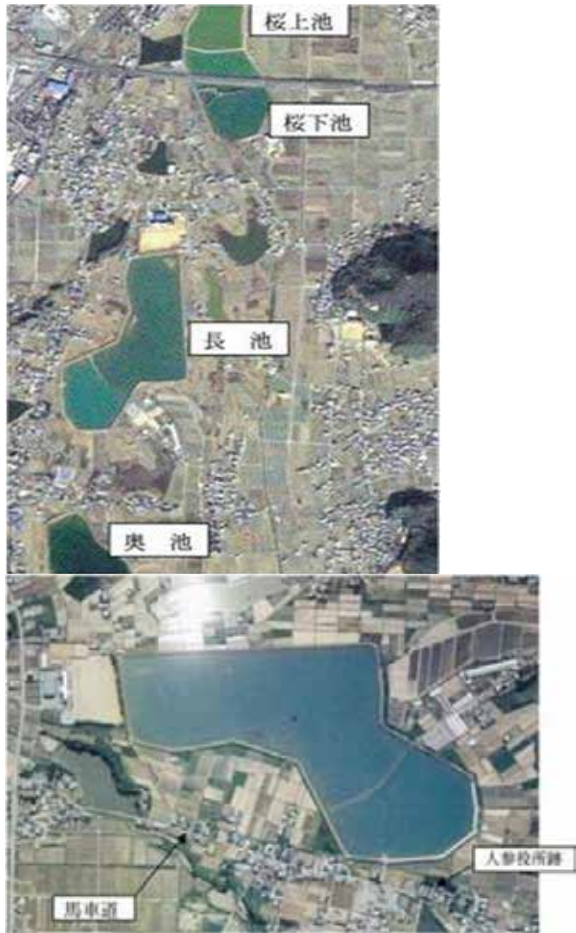


西光寺野台地のため池群

(さいこうじのだいちのためいけぐん)



長池の全景

ため池の概要

ため池の所在地

兵庫県姫路市、神崎郡福崎町

ため池の特徴

西光寺野台地のため池群は、主な4池(桜上池、桜下池、長池、奥池)で200万 m^3 を超える貯水量を持ち、300ha以上の耕地を潤しています。

西光寺野の農村風景に溶け込んでいるこれらのため池は地域に潤いを与え、散策路やジョギングコースにもなっています。

西光寺野は、姫路市から福崎町に跨る400haの馬の背状の台地で、用水が不足し、江戸期より何度もため池が造られてきましたが、決壊により新田が土砂に埋まるなどの被害が繰り返し発生してきました。

このため、上流の岡部川から非かんがい期に取水し、主なため池6ヶ所を整備してかんがいを行う大事業が計画され、苦勞の末大正4年に完成しました。特に最大の長池の築造は、旧長池と旧左衛門池を一つにするもので、困難を極めた一大事業でした。

また、この地には明治期に生野銀山と港を結ぶ「銀の馬車道」が開通し、台地開拓の気運を一気に高めたといわれています。

20年度には、ため池群や疎水路が近代化産業遺産群の認定を受け、ため池や「いぶし瓦」工場など地区内の史跡を巡る「銀の馬車道ため池ウォーキング」が開催されて好評を博しています。

関連情報